鳥羽市役所
ISE-SHIMA NATIONAL PARK TOBA

Press Release

鳥羽志摩記者クラブ
加盟報道機関　各位

令和　３年　１月　４日（月）
【照会先】
鳥羽市総務課秘書係
担当：山下
℡　0599-25-1105

年頭の鳥羽市長訓示について

新年にあたり、別紙のとおり職員向けに訓示を行いましたので資料提供いたします。

なお、例年、市長訓示は西庁舎大会議室にて職員を集めて行っておりましたが、本年は新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、動画の配信により訓示を行っております。

本年もどうぞよろしくお願いいたします。

市長職員訓示

（令和３年１月４日(月）職員向け配信動画）

「新年にあたって」

皆さん、明けましておめでとうございます。ずいぶん制約の多い年末年始でありましたが、充実したお正月を迎えられましたでしょうか。十分な英気を養うことができたでしょうか。

消防、定期船、そして清掃業務に携わられる方々は、例年より、ひときわ神経を使って職務にあたられたことと思います。ご苦労様でした。

さて、昨年は新型コロナウイルス感染症対策で大変な一年でした。

「でした」とは言うものの、今なお、終息が見えない状況であります。今一度、気を引き締め、市役所一丸となって、市民の安全安心のために、今年も頑張っていきましょう。

コロナで大変な年とは言ったものの、昨年は皆さんの頑張りのおかげで、ハード整備を中心に、今やらなければならない事業をほぼ予定どおり進めることができました。

ただ、巷には「仏作って魂入れず」ということわざがあります。せっかくいいものを作ったのに、最後に最も大切なものが抜け落ちているという例えです。そういう意味からすると、むしろこれからが大事な時期だと思っております。

「水産研究所」「サブアリーナ」「消防庁舎」が完成しました。今年はそれらを目一杯使う、使い倒す、それこそ魂を入れていく、そういった始まりの年にしたいと思います。

水産研究所は水産のためだけではなく、教育、環境、観光にも活用してまいります。サブアリーナは、スポーツや健康のためだけでなく、地域共生の核として、たくさんの人を集める仕掛けを皆さんに考えていただきたいと思います。

一部の課だけが考えるのではなく、全ての課で、全ての職員が考えるようにしてください。楽しく、面白く、そしてちょっとびっくりするような使い方も考えたいと思います。

昨年もこの場で言いましたが、皆さんの仕事の全ての責任は私が負います。安心して、のびのびとした発想で取り組んでいただきたいと思います。

最後になりますが、皆さん、そして皆さんのご家族の健康とご多幸をお祈り申し上げ、新年の挨拶といたします。コロナに負けずに頑張りましょう。

令和３年１月４日

市長　　中　村　欣一郎